

表1 履修モデル

修士論文コース		単位	
看護学基盤分野(看護学)		1年	2年
履修モデル		看護理論 看護研究特論 看護倫理	2 2 2
共通科目		共通必修科目	2
看護科目		基礎看護学特論Ⅰ 基礎看護学特論Ⅱ 看護の諸活動と専門性・看護技術教育 基礎看護学演習Ⅰ 基礎看護学演習Ⅱ 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ 特別研究Ⅲ	2 2 2 2 2 2 3 3
合計			24
合計			30
修了後期待される能力			
看護の対象を総合的に理解し、支援するための基礎となる理論や方法論に関し科学的に考究することにより、高い専門知識と技術を展開できる実践者となるための基盤や研究能力が育成される。 修了後は、臨床および教育研究機関において看護者の育成に携わるとともに実践的研究を行うことが期待される。			

修学論文コース		看護学基礎分野(看護管理学)	
履修モデル		単位 1年 2年	
共通必修科目		前期 後期 前期 後期	
看護理論	看護研究特論	2	
看護倫理	看護倫理	2	
看護管理学特論	看護管理学特論	2	
コンサルテーション論	コンサルテーション論	2	
看護政策論	看護政策論	1	
国際看護学特論	国際看護学特論	1	
看護研究演習	看護研究演習	2	
看護管理学特論 I	看護管理学特論 I	2	
看護管理学特論 II	看護管理学特論 II	2	
看護実践における管理機能	看護実践における管理機能	2	
看護管理学演習 I	看護管理学演習 I	2	
看護管理学演習 II	看護管理学演習 II	2	
看護管理学に関する文献検討	看護管理学に関する文献検討	2	
特別研究 I	特別研究 I	2	3
特別研究 II	特別研究 II	2	3
特別研究 III	特別研究 III	2	3
計	計	24	6
合計	合計	30	
修了後期待される能力			
看護管理の基礎となる組織や経営管理の理論的探究を通して、質の高い看護を提供するための看護管理に関する実践能力や研究能力が育成される。修了後は、看護職の専門職性を高めケアの質向上に貢献することや臨地および教育研究機関において、看護者の育成に携わるといふ実践的研究を行うことが期待される。			

修士論文コース			産業看護学分野(産業看護学)		
履修モデル			単位		
			1年	2年	
			前期	後期	要項
共通科目	看護理論	2			
	看護研究特論	2			
	看護倫理	2			
共通科目	看護管理特論	2			
	コンサルテーション論	2			
	看護研究演習	2			
共通科目	総合英語演習	2			
	看護研究特論Ⅰ (産業看護概論)	2			
	看護研究特論Ⅱ (産業看護学特論Ⅱ)	2			
領域別専門科目	労働経済学論 (産業保健基礎科学)	2			
	産業看護学演習Ⅰ (産業看護技術論)	2			
	産業看護学演習Ⅱ (産業看護技術論)	2			
領域別専門科目	特別研究Ⅰ	2			
	特別研究Ⅱ	3			
	特別研究Ⅲ	3			
計			24	6	
合計			30		
修了後期待される能力					
産業看護に関する高度な専門的知識、技術を有する実践者であるとともに、様々な事業場で働く人々の健康を支えるための環境調整能力、協働連携等の調整能力、研究活動を行う能力が育成される。修了後は事業場を中心として、産業看護に係る実践、研究に携わるとともに看護職等の教育、指導にあたること、教育研究機関において看護者の育成に携わるとともに実践的研究を行うことが期待される。					

修士論文文コース 看護学実践分野(母子支援看護学)

修士論文文コース 看護学実践分野(急性看護学)

履修モデル		単位	
		1年	2年
		前期	後期
共通必修科目	看護理論	2	
	看護研究特論	2	
	看護倫理	2	
共通科目			
共通必修科目	看護管理学特論	2	
	看護研究演習	2	
	総合英語演習	2	
履修科目	母子支援看護学特論Ⅰ (基礎となる理論)	2	
	母子支援看護学特論Ⅱ (小児看護学対象論・保健・福祉)	2	
	母子支援看護学特論Ⅲ (Uプロダクティブヘルス)	2	
	母子支援看護学演習Ⅰ (研究方法)	2	
	母子支援看護学演習Ⅱ (小児看護学支援論)	1	
	母子支援看護学演習Ⅲ (母性看護学支援論)	1	
	特別研究Ⅰ	2	3
	特別研究Ⅱ		3
	特別研究Ⅲ		3
	計	24	6
合計		30	
修了後期待される能力			
母子看護に関する高度な専門知識、技術を有する実践者であると共に、地域および臨床で母子看護に従事するさまざまな専門職者間の調整を行う能力、臨床において研究活動を行う能力が育成される。修了後は、保健・医療機関を中心に母子看護に係る実践・研究に携わるとともに看護職等の教育・指導に当たることが期待される。あるいは、教育研究機関において看護職者の育成に携わるとともに実践的研究を行うことが期待される。			

履修モデル		単位	
		1年	2年
		前期	後期
共通必修科目	看護理論	2	
	看護研究特論	2	
	看護倫理	2	
共通科目			
共通選択科目	看護教育学特論	2	
	コンサルテーション論	2	
	看護管理学特論	2	
履修科目	急性看護学特論Ⅰ (危機理論)	2	
	急性看護学特論Ⅱ (フィジカルアセスメント)	2	
	急性看護学特論Ⅲ (代謝病態生理と治療管理)	2	
	急性看護学特論Ⅳ (援助関係論、家族援助論)	2	
	急性看護学演習Ⅰ (看護援助論・倫理的調整)	2	
	特別研究Ⅰ	2	3
	特別研究Ⅱ		3
	特別研究Ⅲ		3
	計	24	6
	合計	30	
修了後期待される能力			
看護の対象を総合的に理解し、支援するための基礎となる理論や方法論に関し科学的に探究することにより、急性看護学が求める高い専門知識と技術を展開できる実践者となるための基盤や研究能力が育成される。 修了後は、臨床および教育研究機関において看護職の育成に携わるとともに実践的研究を行うことが期待される。			

修士論文文コース 看護学実践分野(慢性看護学)

履修モデル		単位	
		1年	2年
		前期	後期
共通必修科目	看護理論	2	
	看護研究特論	2	
	看護倫理	2	
共通科目			
共通必修科目	看護教育学特論	2	
	コンサルテーション論	2	
	看護管理学特論	2	
共通必修科目	看護研究演習	2	
	慢性看護学特論Ⅰ (対象論)	2	
	慢性看護学特論Ⅱ (社会資源と環境調整)	2	
専門科目	慢性看護学演習Ⅰ (慢性病の人のアセスメント)	2	
	慢性看護学演習Ⅱ (支援技術)	2	
	特別研究Ⅰ	2	3
	特別研究Ⅱ		3
	特別研究Ⅲ		3
	計	24	6
	合計	30	
修了後期待される能力			
慢性看護に関する高度な専門知識、技術を有する実践者であるとともに、セルフマネジメント・スキルの獲得を旨とした自己管理教育の実践能力、保健医療福祉の専門職者と連携・協働ができる能力、さらに研究活動を行う能力が育成される。 修了後は、慢性期看護にかかわる保健・福祉・医療機関および教育・研究機関において、看護者の育成に携わるとともに実践的研究を行うことが期待される。			

修士論文文コース 看護学実践分野(老年看護学)

履修モデル		単位	
		1年	2年
		前期	後期
共通必修科目	看護理論	2	
	看護研究特論	2	
	看護倫理	2	
共通科目	看護教育学特論	2	
	コンサルテーション論	2	
	国際看護学特論	1	
専門科目	看護研究演習	2	
	看護政策論	1	
	老年看護学特論Ⅰ (老年看護学の専門性)	2	
専門科目	老年看護学特論Ⅱ (老年看護学の実践)	2	
	老年看護学演習Ⅰ (高齢者への看護介入)	2	
	老年看護学演習Ⅱ (老年看護学の研究方法)	2	
	特別研究Ⅰ	2	3
	特別研究Ⅱ		3
	特別研究Ⅲ		3
	計		24 6
合計		30	
修了後期待される能力			
老年看護に関する高度な専門知識、技術を有する実践者であるとともに、高齢者の生活を支える多職種の連携・協働をふまえた調整能力、研究活動を行う能力が育成される。 修了後は、老年看護に係る保健・福祉・医療機関および教育・研究機関において、看護者の育成に携わるとともに実践的研究を行うことが期待される。			

